

科目・コース（ユニット）名： 多職種連携授業
英語名称： Interprofessional Collaboration Course

【担当責任者】 島袋充生 鴻野央征、渡邊桐子（糖尿病・内分泌・代謝内科）、濱口杉大（総合内科・家庭医療学講座）、林哲生（リハビリテーション医学講座）、大谷晃司 安田恵（医療人育成・支援センター）、亀岡弥生（総合科学教育研究センター）

【連絡先】 大谷晃司 kotani@fmu.ac.jp

【開講年次】 5 年, 【学期】 前期 【必修／選択】 必修

【授業形態】 実習

【概要】 医学部生はおよそ 1 年の臨床実習（BSL）が終了した段階、看護学部生と保健科学部生は、卒業を半年後に控え、臨床実習がほぼ終了した段階にある。このコースは、このようにある程度の臨床現場を経験した時期に、臨床の現場で必要とされる多職種連携を学ぶ機会を提供するものである。内容は、以下の 2 つに大別される

- 1) チーム STEPPS：医療安全と医療の質の向上を図るチームトレーニング。
- 2) 症例検討：症例を通じて、それぞれの学部/学科の特性を理解したうえで、どのように治療計画を立て、実践していくかを学ぶ演習。

【学習目標】

- ① 多職種連携とは何か説明できる
- ② 看護師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師の役割について、説明できる。
- ③ チーム STEPPS の 4 つのスキルを説明できる。

【教科書】 特に指定しない。

【参考書】 特に指定しない。

【成績評価方法】

出席状況・学習態度・レポート内容等により総合的に判定される。
実習であるので、完全出席が必須である。

注意：実習の班編制や実習の時間や場所の詳細、あるいは光が丘キャンパスから駅前キャンパスへのバス配車等については、実習前に通知するので、教育研修支援課からの連絡を見落とさないこと。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】3 学部合同演習。

【授業スケジュール】

回数	月/日	曜日	時限	内容	担当教員	備考
1	9 月 18 日	金	4-7	(実) チーム STEPPS	種田憲一郎、永井智恵美、他	駅前キャンパス
2	9 月 24 日	木	1-6	(実) 症例検討 (1)	森下慎一郎、他	駅前キャンパス
3	9 月 25 日	金	1-6	(実) 症例検討 (2)	島袋充生、他	駅前キャンパス

【担当教員】

教員氏名	職	所属
種田 憲一郎	上席主任研究官	国立保健医療科学院
永井 智恵美		
森下 慎一郎	教授	保健科学部
高橋 一人	講師	
星 真行	助教	
川又 寛徳	教授	
福田篤志	准教授	
佐藤 菜保子	教授	看護学部
古溝 陽子	講師	
島袋 充生	教授	糖尿病・内分泌・代謝内科
鴻野 央征	助教	
渡邊 桐子	助教	
濱口 杉大	教授	総合内科・総合診療学講座
林 哲生	教授	リハビリテーション医学講座
大谷 晃司	教授	医療人育成・支援センター
中村 光輝	助教	
安田 恵	助手	
亀岡 弥生	教授	総合科学教育研究センター

* 実際の実習では、上記以外の多数の3学部の教員が参加します。

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

該当する